



大阪プロバスクラブ

会報 第377号

2023年2月8日発行

Monthly Bulletin of

The Probus Club of Osaka

例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111
 例会日：2022年7月より毎月第2水曜日 12時～14時
 ○創立 2001（平成13）年7月9日創立記念式7月16日
 ○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ
 ○友好クラブ：箕面ロータリークラブ
 ○会長：有竹正巳 ○幹事：西宮富夫 ○事務局：（幹事宅）
 〒563-0022 池田市旭丘2-6-25 Tel：090-7496-5096
 ○会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com
 ○会報ホームページ：<http://osakaprobus.exblog.jp/>
 ○全日本プロバス協議会：<https://www.all-japan-probus.com/>
 （R4年11月の第10回総会で決定された新体制）
 会長 田中信昭、幹事長 一瀬 明、会計 飯田富美子
 ○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版
<http://probuscent.exblog.jp/>

R5年1月初旬～R5年2月始めまでの更新分（順不同）

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報第210号	クリスマス例会（第210回例会・年次総会）、山本秀勝会員のマジックショー、ビンゴ大会、他
神戸北	2月例会案内	一人5分スピーチ、「ひとこと」中谷文代、4月観桜会、他
東京八王子	プロバスだより第326号	卓話「近代化のパイオニア伊藤博文～日本独自の文明国を目指して」泉三郎氏、ハッピーコイン、他
奈良	会報第104号	12月度例会報告（女性会員によるハンドベルクリスマス演奏）、12月度スマイルBOX一覧表、他
大阪	会報第376号	（Xmas例会）ショータイム、参加者全員で高級ワイン（西田隆昭会員セレクト）、他
鈴鹿西	会報第268号	河原清会長挨拶、講演「北海道の名付け親 松浦武四郎（松浦武四郎記念館館長山本命氏）、他
東京多摩	ニュース第104号	卓話1「私の履歴書」酒井喜夫会員、「高尾山エクスカーション」に参加して」登坂征一郎会員、他
北九州	月報5年1月号	卓話「動物園の役割と到津の森公園」園長梅津淳一氏、「珍名さん」読めませうか（神田澄男会員）、他

今回 第378回 通常例会 2023年2月8日（水）
 会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00

- 大阪プロバスの歌（作詞：渡辺 孟 補詩：田村徳郎）
- ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時
元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
 - ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ
見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
 - ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気
世界に広がる和の願い 明日も愉快地生き抜こう

●『うぐいす』作詞：林 柳波 作曲：井上武士

梅の小枝でうぐいすは
春が来たようたいます
ホウホウ ホケキョ
ホウ ホケキョ



ウグイス（画像引用元：サン
トリーの愛鳥活動より）

雪のお山をきのうでて
里へ来たようたいます
ホウホウ ホケキョ
ホウ ホケキョ

前回 第377回 新年例会 2023年1月18日（水）
 会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00

◎第377回 通常（新年）例会

- 司会進行：野村尚子会員
- ソング：吉川栄子会員 ●『雪』
- 食事タイム
- 西田隆昭副会長挨拶；有竹会長欠席のため、西田副会長より挨拶あり。
- 幹事報告（全日本プロバス協議会からの連絡を報告）
 - ・全日本広報誌「ひろば」：第10回総会で決定した新体制 会長田中信昭、幹事長一瀬明、会計飯田富美子、他を紹介。（回覧）
 - ・東京八王子プロバスだより特集号：「第10回総会・東京八王子大会の記録」（回覧）
 - ・賛助会員登録（協賛金）のお願い文書：「全日本プロバス協議会の財政基盤は極めて脆弱で、各クラブからの年会費だけでは運営が難しい現状です。そこで賛助会員制度による協賛金のご協力を是非にお願い致します。」とのこと（文書は会員に配布）
- 会計報告：Xmas 例会の収支について報告があった。
- 出席報告：委員長代理吉川会員より11名出席との報告
- 誕生月会員：左より1月西田隆昭会員、11月宮田鐵夫会員、12月川端崇且会員、12月山下恵司会員



- OH-BOX 担当委員長より6名 17,000円との報告あり。
- ★西田隆昭副会長：新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく。
- ★山下恵司会員：新年よろしく。
- ★浅山紀久子会員：本年も宜しくお願い致します。クリスマス会にはご参加下さりありがとうございます。
- ★川端崇且（タカアキ）会員：本年もよろしく。
- ★宮田鐵夫会員：新しい年、新しい息吹を感じて新しいスタートを！今年もよろしくお願いします。
- ★野村尚子会員：あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

(会報担当より：新年例会では、参加会員の1分スピーチを行いました。多くの会員は知り合いの死去の話題を取り上げられましたが、それ以外の話題を提供していただいた会員スピーチメモより近況報告として記事を作成しました。)

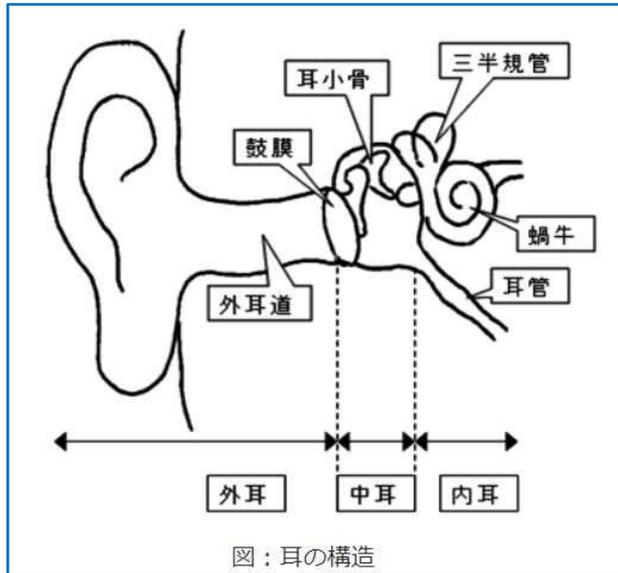
◎近況報告1.「最近、難聴のため両耳の手術をした。現在リハビリ中」川端崇且会員

川端会員によると、右耳は鼓膜再生手術、左耳は人口内耳埋込手術をしたとのこと。以前は完全に聞こえない状態だったが、現在は対面でも聞こえる状態になってきた。現在リハビリ中ですとのこと。

★耳の構造

(健康長寿ネット「難聴」より引用)

耳は、外耳・中耳・内耳に分かれています。音は外耳から入り、鼓膜を振動させ、耳小骨という小さな骨で増幅されて、音を感じる感覚細胞が存在する内耳に伝達されます。内耳からは聴神経を経て脳の聴覚中枢へ伝達されて処理され、音や言葉を弁別しています。



図：耳の構造

(川端会員のスピーチでは、上図の耳の構造図の中耳部分の「鼓膜」と内耳部分の「蝸牛」に関連する手術をしたと思われる。)

1. 鼓膜再生

★鼓膜形成術

(順天堂大学医学部附属順天堂病院サイトより引用)

急性中耳炎や鼓膜チューブ留置後または外傷による鼓膜穿孔が生じた場合、多くの場合は自然に閉鎖されますが、稀に鼓膜の穴が閉じずに残る場合があります。鼓膜の穿孔が大きければ難聴をきたします。また、鼓膜に穴が開いた状態では鼓膜の内側が感染をきたしやすくなり、耳漏(耳だれ)を繰り返すことがあります。感染を繰り返すと中耳内の耳小骨の動きが悪くなったり、音を感じる器官(内耳)に障害を来したりすることがあり、不可逆的な難聴へと至るケースもあります。

★術式

手術は顕微鏡もしくは内視鏡を用いて行います。鼓膜の穿孔縁の周囲を少し大きくトリミングし、鼓膜再生のきっかけを作る「新鮮化」という処置をします。そ

の後、患者さん自身の耳の後ろを10mm程度切開して採取した皮下組織や筋肉の膜もしくは耳の軟骨を移植して鼓膜が再生する足場を作ります。移植した組織は血液製剤の1つであるフィブリン糊を用いて固定します。術後数か月すると、移植した組織を足場として鼓膜が再生し穿孔が閉鎖されます。(以下省略)

<慢性中耳炎の場合>

(新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野サイトより引用。)

鼓膜に穴が開き慢性的に難聴や耳だれが生じている状態です。大きな皮膚切開を行わず、外耳道から穴を閉鎖する鼓膜形成術(接着法)(図1)により、数日間の入院での治療が可能となっています。(以下省略)

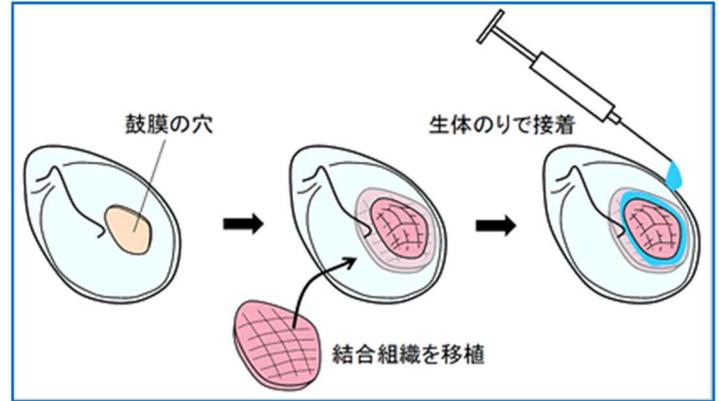


図1 鼓膜形成術(接着法)

2. 人口内耳埋込

★疾患概要

(文・画像とも兵庫医科大学病院「人口内耳埋込術」より抜粋引用)

日本聴覚医学会は、聴力レベルが70dB以上は「高度難聴」、90dB以上は「重度難聴」と定義しています。なかでも、補聴器を使用してもほとんど聞きとることができない難聴に対し、唯一の聴覚獲得方法とされているのが人工内耳埋込め込み手術です。

人工内耳は体内に埋め込む体内装置(インプラント)と、磁石で体表面にくっつける体外装置(サウンドプロセッサ)から構成されており、手術でインプラントの電極を内耳の蝸牛へ挿入します。



★聞こえ方の仕組み

サウンドプロセッサのマイクから集音された音がデジタル信号に変換され、送信コイルを通じて皮下に埋め込まれたインプラントへ送られます。インプラントで電気信号に変換され、電極を介して蝸牛へ送られた信号が音として認識されます。

★治療

手術にてインプラント本体を皮下に埋め込み、電極を蝸牛に留置します。

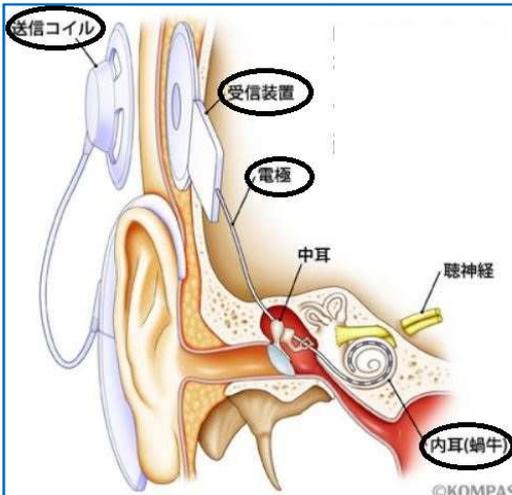


蝸牛への電極挿入

インプラントは体内に埋め込まれ露出していないため、サウンドプロセッサをつけていない状態では、人工内耳を入れているか、外見上ほぼ分かりません。（以下略）

★対外・体内装置装着（画像引用元：慶応義塾大学医療・健康情報サイト「KOMPAS」耳鼻咽喉科より）

・対外装置・インプラント装着状態



（聞こえ方：集音→送信コイル→受信装置・電極・蝸牛（インプラント）→聴神経へ）

・対外装置装着状態



（※サウンド＝スピーチと思われる）

★リハビリテーション（KOMPASより引用）

人工内耳は、その有効性に個人差があり、また手術直後から完全に聞こえるわけではありません。人工内耳を通して初めて聴く音は、個人により様々な表現がなされていますが、本来は機械的に合成された音です。しっかりリハビリテーションを行うことで、多くの場合徐々に言葉が聞き取れるようになってきます。このため、術後のリハビリテーションが大切です。また、リハビリテーションには、本人の継続的な積極性と、家族の支援が必要です。

◎近況報告2「今年の正月、石垣島で過ごした」山下恵司会員

山下会員のスピーチでは、今年の正月は4人の孫を含む10人で12月30日より5日間、ホテル「グランヴィリオリゾート石垣島」で過ごしましたとのこと。

★石垣島（以下Wikipediaより）

・石垣島

八重山列島の政治・経済・教育・交通などの中心地である。沖縄県の県庁所在地の那覇市からは南西に410km離れている。一方、台湾とは概ね270kmしか離れておらず、地理的には日本の大半の地域よりも台湾に近い。

・地勢：島の主要部は概ね五角形で、その北東端から北東方向に細長く野底半島及び平久保半島が突き出ている。島の中央やや北にある標高525.5mの於茂登岳は沖縄県の最高峰であり、この山以北は山がちである。

・石垣島の地区



画像引用元：石垣島ネットより

★主な観光地

（川平地区）石垣島を代表する景色を眺める川平公園
（北部地区）石垣島最北端の爽快な眺め 平久保崎灯台
（中心部）海のなかに子ども用遊具も マエサトビーチ
（中心部）アクティビティも楽しめるロングビーチ フサキビーチ 等々

★「グランヴィリオリゾート石垣島」

(引用元: tripadvisor サイトより引用)

石垣島の中心地より車で約10分。正面に青い海と竹富島を望む全200室の開放的なリゾートホテル。屋内外のプールや、サウナ・岩盤浴・露天風呂完備の大浴場、屋上に位置する星空展望テラスなど無料でご利用頂ける施設も充実。緑あふれるホテル中庭には南国のカラフルな花が咲き乱れます。(中略) ホテルロビーでは毎日20時より三線ライブや、エイサーの踊りなどの演目を無料で実施。ご家族で、カップルで、お友達同士で、もちろん一人旅でも。南国の自然と融合した当ホテルで、こころ穏やかな島時間をお過ごしくださいませ。



ホテル室内からの眺め

画像引用元: ホテル「グランヴィリオ石垣島」サイト

★防衛 (Wikipedia より)

先島諸島では、宮古島に陸上自衛隊宮古島駐屯地(2019年開設)及び航空自衛隊宮古島分屯基地、与那国島に陸上自衛隊与那国駐屯地(2016年開設)が存在するものの、八重山列島の主島である石垣島には防衛省・自衛隊の管轄にある施設は存在しない。(中略) 中国海軍の軍備強化を受けて、防衛省は(中略)石垣島への陸上自衛隊の部隊(離島警備部隊及び地対空・地対艦ミサイル部隊)配備を決定しており、2019年3月には造成工事が開始されている。



画像引用元: Wikipedia

★石垣島にミサイル部隊配備へ…中国に対抗する狙い、南西諸島は4拠点態勢に

(2021. 8. 2 読売新聞記事より引用)

防衛省は2022年度末に陸上自衛隊のミサイル部隊を沖縄県・石垣島(石垣市)に配備する方針を固めた。

500~600人規模となる予定で、沖縄本島を含め、南西諸島のミサイル部隊は4拠点態勢となる。海洋進出を強める中国に対抗する狙いがある。(中略)

南西諸島は約1200キロメートルと日本列島に匹敵する長さで、フィリピンまでつながる「第1列島線」に位置する。中国はこの線の内側への米軍侵入を阻止する軍事戦略「接近阻止・領域拒否(A2AD)」を描く。沖縄本島と沖縄県・宮古島(宮古島市)間に空母「遼寧」を通過させるなど、この海域での軍事活動を活発化させている。

これに対し、防衛省は南西諸島の防衛力強化を進めている。石垣島が加われば、鹿児島県・奄美大島(奄美市など)と沖縄本島、宮古島の4島にミサイル部隊が配備されることになる。

石垣市では部隊駐屯への反対があり、18年3月の市長選でも争点となったが、事実上の容認姿勢だった現職の中山義隆氏が勝利した。中山市長は同年7月に部隊配備の受け入れを正式表明している。

★【R4年12月16日岸田内閣総理大臣記者会見: 岸田総理冒頭発言】

(首相官邸HPより一部引用)

本日、新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略及び防衛力整備計画の3つの文書を閣議決定いたしました。(中略)

現在の自衛隊の能力で我が国に対する脅威を抑止できるか。脅威が現実となったときにこの国を守り抜くことができるのか。極めて現実的なシミュレーションを行いました。率直に申し上げて、現状は十分ではありません。新たにどのような能力が必要なのか、3つの具体例を挙げたいと思います。(1, 2 略) 3つ目は、南西地域の防衛体制の強化です。

安全保障環境の変化に即して、南西地域の陸上自衛隊の中核となる部隊を倍増するとともに、日本全国から部隊を迅速に展開するための輸送機や輸送船舶を増強します。(中略)

さらに、尖閣(せんかく)諸島を守るための海上保安庁の能力増強や、防衛大臣による海保の統制要領を含む自衛隊との連携強化といった取組も進めていきます。

(以下略)

次回 第379回 通常例会 2023年3月8日(水)
会場: ホテルモントレ大阪 12:00~14:00